

新規事業創出を加速する事業者のご紹介

<ご留意点> 本件は、2020年度 NEDO調査委託事業「研究開発型スタートアップ支援事業／オープンイノベーション支援事業者に関する調査事業」で作成したものです。

掲載日:2021/6/15

支援事業者	Creww株式会社
ホームページ	https://creww.me/
インタビュー記事	https://www.joic.jp/interview-accelerators.html#contents-head3
簡単な企業概要 (創業年、位置づけ(子会社等))	<ul style="list-style-type: none"> ●設立:2012年8月 ●代表:代表取締役 伊地知 天
どういう会社か (理念、一言)	●「大挑戦時代をつくる」ビジョンのもと、社会や企業の課題解決に挑戦したい人をトータルにサポートします。
創業時の問題意識	●10年前、海外のようなスタートアップエコシステムが日本になく、チャレンジする人たちの増やさないといけないし、そのような人たちに必要な支援を行うプラットフォームが必要ではないか、という思いから。
支援内容 (URL参照)	<p><オープンイノベーション事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラウド型オープンイノベーション支援サービス「Creww Growth」: https://growth.creww.me/ <p>(参考)事業会社とスタートアップの協業事例: https://creww.me/growth/success-stories/</p> <p><インキュベーション事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業のゼロイチに出会えるプラットフォーム「STARTUP STUDIO by Creww」: https://studio.creww.me/
支援内容のうち、 インタビューピックアップ分	●プログラムの期間は約6ヶ月～8か月です(前半:顧客とスタートアップの連携、案件のブラッシュアップ。後半:PoC検証)。Creww Growthでは、本プログラムの全プロセスをオンライン化(クラウド化)しています。
連携先の探索の仕方	●オンライン上(Creww Growthのプラットフォーム上)で、事業会社が自社の経営資源やスタートアップと目指す領域・テーマを掲載し、それに協業案を提案してきたスタートアップを顧客に紹介します。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートアップ登録社数が5,300社を超えます(毎月増加)。 ●プログラムの進捗管理として、ブラッシュアップ完了率という独自の評価指標を用い、事業会社とスタートアップとの進行状況を把握します。その後の役員向けプレゼンテーションでは、事業会社側の担当者がスタートアップと一緒に発表し、採択されたものをPoCします。6ヶ月経過後、事業化の判断ができるレベルまで持っていくのが本プログラムのゴールです。
事例	<ul style="list-style-type: none"> ●大正製薬株式会社 https://accele.creww.me/collaboration/taishoseiyaku-2019-3 <p>オンライン上で、自社の経営資源、開拓したい領域等を掲載し、応募してきたスタートアップに対してCrewwが1次フィルタリングし、製薬企業に紹介しました。8週間程度、製薬企業とスタートアップでブラッシュアップしました。(Crewwはモニタリング・交通整理しつつ、次の役員プレゼンのための材料集め。)</p> <p>最終的には3つの提案が採用され、PoCを実施中です。</p> <p>(その他の事例は、Creww株式会社のホームページを参照ください。)</p>
支援効果	●プログラムの開催をきっかけに、大企業内にイノベーション推進部のような新規事業を推進する部署が新設する等、継続的なイノベーション活動に繋がっています。
支援実績	<ul style="list-style-type: none"> ●約10年間で、約200回のプログラムの開催実績があります(21年5月現在。増加中)。 ●実際に採択されて、新しく生まれたプロジェクト数が約680件あります(21年5月現在。増加中)。
顧客	●大企業、地方の中堅企業
顧客ニーズ (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ●既存事業のデジタル化 ITやテクノロジービジネスを多く手掛けているスタートアップとの共創を通じた、迅速なデジタルシフト ●新規ビジネスの創出 斬新なサービスやアイデアを持ったスタートアップとの共創による、新規ビジネスの幅広い可能性の模索
創業者の想い・ 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ●イノベーション活動は継続して実施することが大切です。プログラムで生まれた新規事業は「あくまで副産物」として捉えて、継続して新規事業の創出に取り組むことで得られた知見・ノウハウを組織の中に財産として積み上げてイノベーションを創出する組織に変革していくことが重要です。弊社では、継続してイノベーション活動を推奨するため「オープンイノベーションの7つのステージ」を定義しています。参考: https://port.creww.me/innovation/61993 ●全国の地域イノベーションを加速するべく、「47(よんなな)クルーズプロジェクト」を開催しています。本プロジェクトは、地域に根ざした経営資源を持つ地域中核企業様のデジタル化(DX推進)や新規事業の創出を、スタートアップと協業することによって、該当地域に新たな価値を創出することを目的として実施しています。(開催パートナーとして、地場の地方銀行さんやコンサルティングファームさんと共催で開催することも想定しています。)参考: https://creww.me/47crew